

新たな地域コミュニティ支援事業にかかる受託者等の評価結果について（令和5年度）

1 支援の内容及び効果等（1）

評価項目

「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）」

- (1) 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- (2) 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- (3) 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- (4) 「Ⅳ 区独自取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等

評価	左記の理由
B	・ 地域課題を的確に把握したうえで、地域実情にあったサポートやアドバイスをを行い、会計処理をはじめとした各項目について理解が深まった。 ・ 12.9 港区防災マルシェを開催し、地域とのつながりが薄い住民等に地域活動や地域活動協議会の取組の情報を提供することにより、第一層支援に取り組んだ。 ・ アフターコロナにおける地域活動の再開に向けて、地域実情にあったサポートやアドバイスをを行い、各地域とも順調に活動を再開できた。 ・ 地域ニーズを的確に把握したうえで、専門学校や大学など構成団体以外との連携支援に取り組んだ。

2 支援の内容及び効果等（2）

評価項目

- (1) 自由提案による地域支援の支援状況（実績）及び効果等
- (2-1) スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制にかかる支援状況（実績）及び効果等
- (2-2) フォロー（バックアップ）体制等にかかる支援状況（実績）及び効果等
- (3) 区のマネジメントに対応した取組にかかる支援状況（実績）及び効果等

評価	左記の理由
B	・ 地域活動をまちづくりセンターのフェイスブックで積極的に情報発信し、地域活動協議会に対する理解促進を図った。 ・ 専門学校や大学と包括的に連携し、地域の実情に即した効率的な支援に引き続き努めている。 ・ 区の担当課と定期的に意見交換を行い、地域情報や課題の共有のほか支援の方向性について、双方調整・確認ができています。

3 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）の状況及び効果等（5つ以内）

評価項目

区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）にかかる支援の状況及び効果等

評価	左記の理由
B	・アフターコロナにおける地域活動の再開に向けた対応策について、地域実情にあったサポートやアドバイスを行うことで、各地域とも順調に活動再開できており、自律した運営ができています。 ・また、活動再開により煩雑となる会計処理や広報についても、地域実情にあったサポートやアドバイスを行っており、各地域とも自律した運営ができています。 ・自立した運営ができていることで活動も活発となり、結果として地域課題の解決や地域活動協議会の認知度の向上につながっていくと想定される。

4 取組効果の評価（アウトカムに対する評価）

評価項目

(1) アンケート調査

(2) 自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）

(2-1) 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等

(2-2) 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の状況（実績）及び効果等

(2-3) 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の状況（実績）及び効果等

(2-4) 「Ⅳ 区独自取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等

(3) その他の効果のあった内容

評価	左記の理由
B	・まちづくりセンターの支援に対する地域の満足度は高く、目標についても達成できた。 ・地域活動協議会の取り組み状況については、基本の項目は全地域90点以上を上げているが、発展の項目も含めると地域によっては自律度の低いところがある。地域実情に即した支援手法の工夫が必要である。

5 総合評価【全体】

評価	左記の理由
B	・ここ数年、コロナ禍で多くの活動が自粛を余儀なくされたが、令和5年5月に5類に移行した。その後は地域活動の再開に向けて、地域実情にあったサポートやアドバイスを行い、各地域とも順調に活動を再開できている。 ・活動の再開にあたっては、最も重要な会計処理や広報について、きめ細やかなサポートやアドバイスを行い、理解が深まっていると感じる。 ・一方で、地域間での地域活動協議会に対する認識や課題の捉え方も異なりを見せているため、引き続き地域実情に見合った支援に取り組んでももらいたい。

(評価基準)

S：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を大幅に上回っている。

A：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を上回っている。

B：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準に概ね達している。

C：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を下回っている。